

## 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	ビキセオス配合静注用	劇
(英名)	Daunorubicin Hydrochloride/Cytarabine	
(規格・含有量)	1 バイアル中 ダウノルビシン塩酸塩 47mg(ダウノルビシンとして 44mg)、シタラビン 100mg を含有	
(一般名)	ダウノルビシン塩酸塩/シタラビン	
(メーカー名)	日本新薬	
【薬価収載日】	2024 年 5 月	
【薬価】	1 瓶 877,877 円	
【薬効コード】	4291	
【薬効分類名】	抗悪性腫瘍剤	
【効能・効果】	高リスク急性骨髄性白血病	
【用法・用量】	<p>(1)寛解導入療法</p> <p>通常、寛解導入療法として、本剤 100 ユニット(ダウノルビシン/シタラビンとして 44mg/100mg)/<math>m^2</math>(体表面積)を1日1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。</p> <p>1 サイクル目として本剤を1、3、5 日目に点滴静注する。1 サイクル目に寛解に到達しなかった患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1 サイクル目の投与開始から2~5 週間後に、2 サイクル目として本剤を1、3 日目に点滴静注する。</p> <p>(2)地固め療法</p> <p>通常、地固め療法として、本剤 65 ユニット(ダウノルビシン/シタラビンとして 29mg/65mg)/<math>m^2</math>(体表面積)を1日1回、90分かけて、最大2サイクルまで投与する。</p> <p>最後の寛解導入療法開始から5~8 週間後に、1 サイクル目として本剤を1、3 日目に点滴静注する。1 サイクル目の投与開始後に病態が進行していない患者で、本剤への忍容性が良好な場合、1 サイクル目の地固め療法開始から5~8 週間後に、2 サイクル目として本剤を1、3 日目に点滴静注する。</p> <p>本剤の用量単位である1 ユニットには、ダウノルビシン 0.44mg 及びシタラビン 1mg が含まれる。</p>	

詳細は添付文書等をご参照ください。

<b>(薬品名) アレジオン眼瞼クリーム 0.5%</b>	
(英名)	Epinastine Hydrochloride
(規格・含有量)	1g 中 エピナスチン塩酸塩 5mg を含有
(一般名)	エピナスチン塩酸塩
(メーカー名)	参天
【薬価収載日】	2024 年 5 月
【薬価】	1 錠 1,686.70 円
【薬効コード】	1319
【薬効分類名】	持続性・経眼瞼アレルギー性結膜炎治療剤
【効能・効果】	アレルギー性結膜炎
【用法・用量】	通常、適量を 1 日 1 回上下眼瞼に塗布する

<b>(薬品名) ブイタマークリーム 1%</b>		市販直後調査 2024 年 10 月～2025 年 4 月
(英名)	Tapinarof	
(規格・含有量)	1g 中 タピナロフ 10mg を含有	
(一般名)	タピナロフ	
(メーカー名)	鳥居薬品	
【薬価収載日】	2024 年 8 月	
【薬価】	1g 300.80 円	
【薬効コード】	2699	
【薬効分類名】	アトピー性皮膚炎治療剤 尋常性乾癬治療剤	
【効能・効果】	○アトピー性皮膚炎 ○尋常性乾癬	
【用法・用量】	〈アトピー性皮膚炎〉 通常、成人及び 12 歳以上の小児には、1 日 1 回、適量を患部に塗布する。 〈尋常性乾癬〉 通常、成人には、1 日 1 回、適量を患部に塗布する。	

詳細は添付文書等をご参照ください。

<b>(薬品名)</b> <b>ロゼバラミン筋注用 25mg</b>		<b>市販直後調査 2024年11月～2025年5月</b>
<b>(英名)</b>	Mecobalamin	
<b>(規格・含有量)</b>	1バイアル中 メコバラミン 28.75mg を含有	
<b>(一般名)</b>	メコバラミン	
<b>(メーカー名)</b>	エーザイ	
<b>【薬価収載日】</b>	2024年11月	
<b>【薬価】</b>	1瓶 10,425円	
<b>【薬効コード】</b>	119	
<b>【薬効分類名】</b>	筋萎縮性側索硬化症用剤	
<b>【効能・効果】</b>	筋萎縮性側索硬化症(ALS)における機能障害の進行抑制	
<b>【用法・用量】</b>	通常、成人には、メコバラミンとして50mgを1日1回、週2回、筋肉内に注射する。	

詳細は添付文書等をご参照ください。

## 削除医薬品通知

ハイペン錠 200mg	1/7 削除
タブコム配合点眼液	1/7 削除
メンタックス外用液 1%	1/7 削除
膵外分泌機能検査用 PFD 内服液 500mg	1/7 削除

## 規格追加医薬品採用通知

ロスバスタチン OD 錠 5mg「DSEP」	1/7 採用
------------------------	--------

## 販売中止による医薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>在庫消尽後変更</u>                      ドブタミン持続静注 300mg シリンジ「テルモ」                      ロキソニンゲル 1%</li> </ul>	ドブタミン持続静注 300mg シリンジ「KKC」 ロキソプロフェン Na ゲル 1%「NP」

## 供給不足による医薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>在庫消尽後変更</u>                      アトモキセチン錠 10mg「トーワ」                      アトモキセチン錠 25mg「トーワ」                      アトモキセチン錠 40mg「トーワ」                      アトモキセチン内用液 0.4%「トーワ」                      ニゾラールクリーム 2%</li> </ul>	ストラテラカプセル 10mg ストラテラカプセル 25mg ストラテラカプセル 40mg ストラテラ内用液 0.4% ケトコナゾールクリーム 2%「NR」

## 出荷停止により今後欠品となる薬品

バル筋注 100mg「AFP」

## 供給再開によるオーダー再開について

ケフレックスカプセル 250mg

2024 年 12 月 27 日 オーダー再開

※供給量が少ないため必要最小限のご使用にとどめていただくようお願いいたします。

## 安定供給となった薬品

カロナール細粒 20%

デノシン点滴静注用 500mg

## 販売中止のお知らせ

アロンアルファ A「三共」

在庫消尽後、オーダー停止。2026 年 3 月末経過措置終了予定

メレックス細粒 0.1%

在庫消尽後、オーダー停止。2026 年 3 月末経過措置終了予定

メレックス錠 1mg

在庫消尽後、オーダー停止。2026 年 3 月末経過措置終了予定

## 適応追加通知

ヒフデュラ配合皮下注	<p><b>【効能・効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全身型重症筋無力症(ステロイド剤又はステロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効しない場合に限る)</li> <li>○慢性炎症性脱髄性多発根神経炎</li> </ul> <p><b>【用法・用量】</b></p> <p>〈慢性炎症性脱髄性多発根神経炎〉</p> <p>通常、成人には本剤 1 回 5.6mL(エフガルチギモド アルファ(遺伝子組換え)として 1,008mg 及びボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)として 11,200 単位)を週 1 回皮下投与する。</p> <p>〈他〉省略</p>
オルダミン注射用 1g	<p><b>【効能・効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○食道静脈瘤出血の止血及び食道静脈瘤の硬化退縮</li> <li>○胃静脈瘤の退縮</li> <li>○静脈奇形の硬化退縮</li> </ul> <p><b>【用法・用量】</b></p> <p>〈静脈奇形の硬化退縮〉</p> <p>静脈奇形の硬化療法に用いる。</p> <p>用時、1 バイアルあたり 10mL の注射用水又は血管造影用 X 線造影剤を加えて 5%溶液に調製する。</p> <p>通常、5%モノエタノールアミノレイン酸塩として、1 治療あたり 0.4mL/kg 以内を静脈奇形病変内に注入する。</p> <p>なお、1 治療あたり 5%モノエタノールアミノレイン酸塩としての総注入量は 30mL 以内とする。</p> <p>〈他〉省略</p>
オプジーボ点滴静注 20mg 120mg 240mg	<p><b>【効能・効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○悪性黒色腫</li> <li>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</li> <li>○非小細胞肺癌における術前補助療法</li> <li>○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌</li> <li>○再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫</li> <li>○再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌</li> <li>○治癒切除不能な進行・再発の胃癌</li> <li>○切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫</li> <li>○悪性中皮腫(悪性胸膜中皮腫を除く)</li> <li>○がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌</li> </ul>

<p>オプジーボ点滴静注</p> <p>20mg</p> <p>120mg</p> <p>240mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○根治切除不能な進行・再発の食道癌</li> <li>○食道癌における術後補助療法</li> <li>○原発不明癌</li> <li>○尿路上皮癌における術後補助療法</li> <li>○根治切除不能な尿路上皮癌</li> <li>○根治切除不能な進行・再発の上皮系皮膚悪性腫瘍</li> </ul> <p>【用法・用量】</p> <p>〈根治切除不能な尿路上皮癌〉</p> <p>ゲムシタビン塩酸塩及び白金系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回 360mg を 3 週間間隔で 6 回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回 240mg を 2 週間間隔又は 1 回 480mg を 4 週間間隔で点滴静注する。</p> <p>〈他〉省略</p>
<p>キイトルーダ点滴静注</p> <p>100mg</p>	<p>【効能・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○悪性黒色腫</li> <li>○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌</li> <li>○非小細胞肺癌における術前・術後補助療法</li> <li>○再発又は難治性の古典的ホジキンリンパ腫</li> <li>○根治切除不能な尿路上皮癌</li> <li>○がん化学療法後に増悪した進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)</li> <li>○根治切除不能又は転移性の腎細胞癌</li> <li>○腎細胞癌における術後補助療法</li> <li>○再発又は遠隔転移を有する頭頸部癌</li> <li>○根治切除不能な進行・再発の食道癌</li> <li>○治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌</li> <li>○PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌</li> <li>○ホルモン受容体陰性かつ HER2 陰性で再発高リスクの乳癌における術前・術後薬物療法</li> <li>○進行・再発の子宮体癌</li> <li>○がん化学療法後に増悪した高い腫瘍遺伝子変異量(TMBHigh)を有する進行・再発の固形癌(標準的な治療が困難な場合に限る)</li> <li>○進行又は再発の子宮頸癌</li> <li>○局所進行子宮頸癌</li> <li>○再発又は難治性の原発性縦隔大細胞型 B 細胞リンパ腫</li> <li>○治癒切除不能な進行・再発の胃癌</li> <li>○治癒切除不能な胆道癌</li> </ul>

キイトルーダ点滴静注 100mg	<b>【用法・用量】</b> 〈根治切除不能又は転移性の腎細胞癌、PD-L1 陽性のホルモン受容体陰性かつHER2 陰性の手術不能又は再発乳癌、 <b>進行・再発の子宮体癌</b> 、進行又は再発の子宮頸癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌〉 <b>他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人には、ペムブロリズマブ（遺伝子組換え）として、1 回 200mg を 3 週間間隔又は 1 回 400mg を 6 週間間隔で 30 分間かけて点滴静注する。</b> 〈他.〉省略
---------------------	---